

2018年度分
(2019年8月 公表)

まーぶるにじょう

放課後等デイサービス自己評価表

配布人数 6人 回収人数 6人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1		4	子どもの人数が多いときは、フロアを分けたりしている。布団に寝る子が多いときはスペースがなく、動きにくい。
	2	職員の配置数は適切であるか	1		5	定数以上の配置はしている。しかし、頭数の問題ではなく個々の職員の技量の問題がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	2	4		改善に向け、目標設定をして、実行はしても(PD) C、Aまでができていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1	行事の時などアンケートを行ったりしているが保護者全員の意向を把握できるところまでには至っていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで行っている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	第三者評価は行っていない。費用面での問題で実施できていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			月1回以上の職員研修会を行っている。また、外部研修にも適時適任者を派遣している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別支援計画作成、モニタリングの他、保護者への個別懇談を年1回以上行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		重症心身障害児、医療的ケア児である、利用児童の適応行動の状況は、アセスメントツールでははかれない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		土曜日、長期休暇中についてはできている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	4		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		医療的ケアを始め、ケアにかかる時間も必要であるため、平日に課題を設定することは無理。土曜日、長期休暇中などはできている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		特に長期休暇中などは開始前ができていないことがある。(書面などでの確認は行っている)
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1	3		重症心身障害児対象の放課後デイでは取り組みにくいことがある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	3		努力はしているが、十分ではない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		基本的に主治医との連絡は保護者を通じて行っている。このほか、囑託医との相談をこまめにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			3	努力はしているが、事業所見学などの日程調整が難しい。保育園からの就学支援シートなどをもらうようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			3	連携のシステムがよくわからない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	アスニーなどの地域の公共施設での催しに参加し、障害のない子どもたちと過ごす場となっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3			協議会委員が事業所内にいるため、協議会主催の研修などにも参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	1	あての「ペアレント・トレーニング」が必要な保護者がいない。また形は違うが、適宜助言など含め保護者支援は行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			必要な場合は他の社会資源の紹介や、一緒に関わってもらおうなどしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3		努力はしており、保護者懇談会なども開催しているが十分ではない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	地域の方を接待するような形の行事などは実施できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		保護者への周知ができていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2		1	サービス計画書への記載ができていない。(2019年度より着手予定)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			アレルギー検査について、受検していない児童もあり、医師の指示書はなく、保護者からの要望に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2		